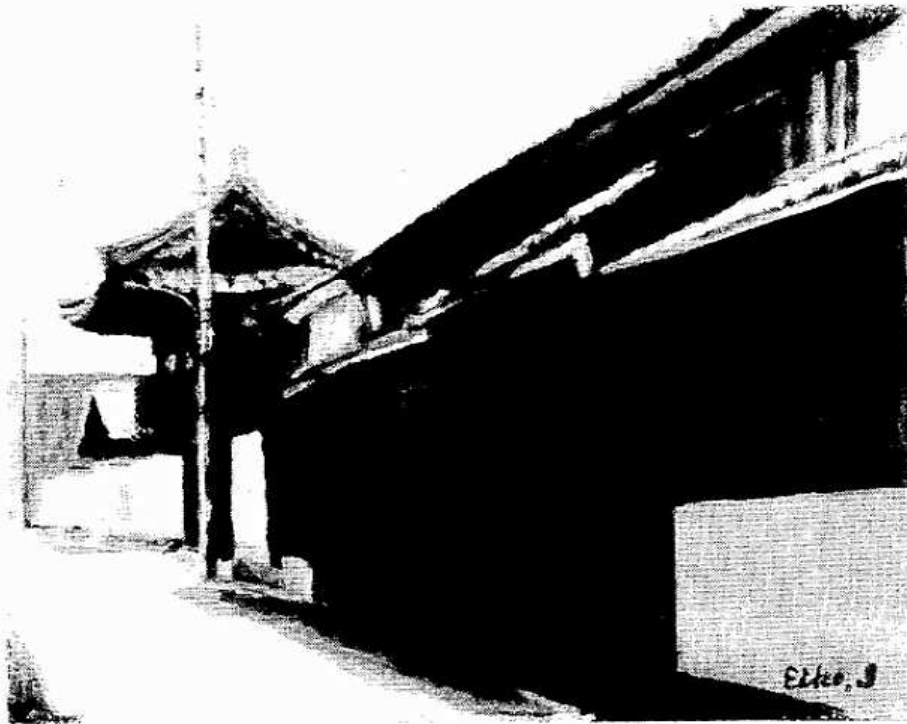


佐保会兵庫支部だより

第 20 号

佐保会兵庫県支部事務局

神戸市中央区山本通り4-2-9
〒650 TEL・FAX 078-221-3361



飯塚栄子(S25・理)

「伊丹風景」
つくり酒屋の杉玉が、昔ながらの伊丹の小道を、風情ある通りにしています。

夏 雑感

支部長 浅野晶子

念願の北欧の旅から帰国した途端、猛暑に迎えられ夢から覚めた心地です。

今回の旅の中心だったフィヨルド廻りでは、氷河の浸蝕によって何千年もかかって出来た手つかずの雄大な自然に心を打たれました。そそり立つ険しい崖壁から流れ落ちる大小無数の滝、深い緑色の水面など今も目に焼きついています。

しかし、目覚めた現実の世界はそんな悠長なものでなく、連日テレビ・新聞等のトップを占めているのが、病原性大腸菌O157の被害です。学童を抱える家庭や給食関係者や行政に少なからぬショックと不安を与えています。

それぞれの立場でその対応策が講じられていますが、未だに感染ルートが解明されず、汚染源が特定されないのは困ったことです。

さて、支部の活動は順調な歩みを続けております。去る六月二十三日、梅雨の中休みの好天に恵まれて、佐保会兵庫県支部総会が約八十名の出席を得て、ポートピアホテルで盛会裡に行われました。当日は本部より長谷川理事長先生お心盡しの品々が届けられ、皆様とても感謝しておられました。

今年の名簿作成の年に当り、目下準備を進めておりますが、震災後まだ仮設住宅、或は他府県で仮住まいという方も多く、胸が痛みます。早く落ち着かれますよう、心からお祈りいたしております。

婦人学級も毎月和やかな集いが行われ、若草は目下毎月のプログラムその他、手作り作品の作成に取り組み、来年あたり何かボランティア活動を始める資金作りにと張り切っています。

秋の睦会の予定も決まりました。もより会もあちこちで計画されているようです。一人でも多くの方が積極的に参加され、心を寄せ合って下さることを願っております。

(七月二十日記)

連綿と

6月23日(日)
於 神戸ポートピアホテル

— お慶び —

卒寿のお祝い

井筒 せつ (S2・家)

奈良絵扇子 (扇子入れは「若草」製作)

卒後55年のお祝い (S16年卒 A16年3月 B16年12月卒業)

栗飯原敬江 (A文) 牛尾昌江 (B文) 大路涼子 (保)

西村実枝子 (保) 橋本美恵子 (保) 伊賀正子 (A家)

岩田敦子 (A家) 大西佐嘉枝 (A理) 津田ひさ子 (A家)

藤井 緑 (A家) 丁子はつみ (B家) 坪根ミキ (B理)

堀 ナツ (B家)



お子様連れでなごやかに

梅雨の晴れ間の日曜日、本年度の支部総会が会員78名の参加のもと盛大に催されました。

プログラムに沿ってスムーズに議事が進行され、規約改正も原案 (本総会案内状と同封にて送付) 通り可決されました。卒後55年のお祝いの記念品 (堆朱の箸) が当日出席のお二人に支部長から贈呈され、返礼のご挨拶がありました。

<会場風景>

今年は、小さいお子様連れの若い会員さんの姿が見受けられ心む風景でした。今後とも若い方々が参加しやすい会であって欲しいと思いました。ただ、新入会員さんの出席が無いのは寂しく感じました。若い会員さんの参加が今後の課題ではないでしょうか。

また、出席者に佐保会本部より「百歳記念小倉遊亀展」のすばらしい図録をいただきました。

都築 暎子 (S37家食)

プログラム

～ 物故者に対して、黙祷 ～

1. 開会のことば
2. 支部長挨拶
3. 新入会員紹介 (出席者なし)
4. 議長選出
5. 議 事
 - (1)平成7年度事業報告
 - (2)平成7年度会計報告
 - (3)平成7年度会計監査報告
 - (4)平成8年度事業計画 (案)
 - (5)平成8年度会計予算 (案)
 - (6)規約改正
 - (7)新副支部長紹介
 - (8)その他
6. 記念品贈呈
 - (1)卒寿のお祝い
 - (2)卒後55年のお祝い
7. 講 演

「空中写真から見た奈良盆地の景観」
奈良女子大学名誉教授
甲子園大学教授 武久 義彦氏
武久地域環境研究所所長

～ 休 憩 ～
8. 会 食 (洋食正餐)
9. 各部報告 (平成7年度)
 - (1)本部報告
 - (2)佐保短大報告
 - (3)大学婦人協会報告
 - (4)佐保婦人学級報告
 - (5)「若草」活動報告
 - (6)「睦会」活動報告
 - (7)支部便り編集委員紹介～伊丹地区～
10. 閉会のことば



♪ 春日の山に出づる日の ♪

平成8年度
佐保会兵庫県支部総会開催

佐保の絆



武久義彦先生講演

平成8年度 新入会員紹介

氏名	学部	勤務先
原田 明子	文体	ディックルネサンス
藤本 友紀	家被	JTBワールド西日本
江島 陽子	家被	東京海上火災保険
原田 美紀	理情	日本総合研究所
徳田 円	理生	生活協同組合コープこうべ
今井 千華	家住	大阪ガス住宅設備
天羽 順子	文教	
桂 美穂	文国	西松屋
吉村 寿香	理物	さくらケーシーエス
井筒 香織	理化	奈良女子大大学院理学研究科
山中 規久子	理生	参天製薬
川上 亜希子	家食	大関
田島 順子	文英	大丸
木村 麻紀	家被	ジオン商事
馬場 明子	理情	三菱スペースソフトウエア
前田 美代子	文教	関西カウンセリングセンター
鶴 濱 史子	文英	三田市役所
藤田 貴子	文社	トヨタオート兵庫
笠木 智代	家生	新日本証券
中村 典子	理化	アース製薬
大 学 院		
脇坂 与志子	文修教	
渡 邊 厚子	家修生経	奈良女子大大学院人間文化研究科
長田 真寿美	家修被	須磨女子高校
澤田 洋子	家修住	
谷口 美樹	人博比	
志方 章子	理修物	伊丹市立伊丹高校
有村 奈保子	家修住	じゅう総合計画研究所
定延 恵美子 (旧姓松本)	文修英	京大大学院人間環境学研究所
濱本 知寿香	人博生	家計経済研究所
圓尾 ゆかり	家修住	兵庫県高齢者生きがい創造協会
明 楽 桃子	家修食	玉乃光酒造

— 講 演 —

「空中写真に見る奈良盆地の景観」

奈良女子大学名誉教授

甲子園大学教授 武久義彦先生

武久地域環境研究所所長

武久先生は昭和42年より奈良女子大学文学部地理学教室に28年間勤務されました。本日は思い出の奈良の地を空から訪ねるということで、空中写真のスライドを拝見しながらお話を伺いました。

●昭和22年撮影の奈良市街地写真では、猿沢の池、三条通り、国鉄奈良駅、近鉄奈良駅、奈良女子大のキャンパス（女高師の姿）を見ることが出来、法蓮町の家並の裏は田んぼが残っていて、油坂～西大寺は一面の水田地帯でした。

●明治18年撮影のものには、後に女高師の敷地になる奈良奉行所跡が示されていますが、こうしてみると奈良の町は、昭和20年代も明治の頃もあまり変わっていないことがわかります。

●大正11年撮影のものでは、昭和22年撮影と同じ奈良女高師の建物が見え、一条・三条・四条大路が直線で見られるのに対し、二条大路（女子大の南、八百勝さんの前の道）の痕跡は船橋商店街から坂を下りると波うって続くのが特徴的です。

●昭和22年撮影のものに今のJR京終駅の近くの鹿野園の台地の西側に南北に走る断層が見られます。これは春日山から三輪山に連なる春日断層崖と平行する形での活断層です。東向の通りは活断層の麓を走っていて、近鉄奈良駅から女子大に向う坂は活断層とのことで驚きました。

●その他、大和郡山市稗田の集落（環濠集落）付近に見られる帯状の映像は、集落を洪水から守る堤防です。特に宮堂の受堤は、奈良盆地の中で一番美しく保たれている文化的遺産です。又、二階堂付近の映像ではっきり見られる一町四方の土地割り（条里型の土地割り）の跡など、私達が日頃見たり聞いたりすることのない角度から奈良盆地を見ることが出来たのは、非常に興味深いものでした。

塚口郁子（S35家住）

若草総会レポート

高尾知佐子 (S53・家生 S57・文修社)

若草が産声を上げてから早四年目、定例会では時間が足りない程活発な意見交換がなされました。

会員相互の親睦や会の活性化を図る「助走」の時期はそろそろ卒業し、若草本来の目的に向かって「離陸」する時が来たのでは、という指摘がありました。

若草の目的は、情報のネットワーク作りから、その活動を社会に還元する方向にもっていくことであり、その方法として、まずボランティア活動が挙げられました。ボランティア活動の前提として、ポランテニア先生より示唆された次の三点が浅野先生より示唆されました。

だより

- ①定期的である②一人の負担が重くない③交通費程度は支給できる。この③の資金源として、バザー、コンサートを定期的に開催することが、今後の課題となりました。
- ともかく一度ご参加ください。そしてご意見・ご感想をお聞かせ下さい。



活発な意見交換

宝塚花組公演の観劇 「ハウ・トゥー・サクシード」

佐藤慶子 (S43・文英)

ビルの窓ふきだった青年がハウ・トゥー本を手にしてから会長ポストへトントン拍子に昇りつめていくコメディ・タッチのサクセス・ストーリーで、素敵な恋を織り交ぜた明るいミュージカル。昔乙女や今乙女とそのお連れ男性、お子さんたちを含めて総勢三十二名がS席でゆっくり観劇を楽しむ事ができました。そこで皆さんの感想を拾ってみました。「ブロードウェイでもヒット中のミュージカルとか、その雰囲気はこちらに伝わってくるようです。テンポも軽

くとても楽しかったです」「ニューヨーク摩天楼のビジネス界が少し風刺の効いたコメディ風風にかかれていて、男性の私にも充分楽しめました」「現在のビジネス社会の事なので分かりやすく、ダンスも多く、テンポの速い筋運びに満足しました」など、皆さん満足されて、二時半頃帰路につきました。



ハウ・トゥー・サクシード

素敵なティーパーティー

滝内久美子 (S40・文教)

九月の若草の会で講師にお招きした佐藤よし子先生は、英国の学校を卒業され、ご自宅でハウスキーパーの教室を開く傍ら雑誌や講演で大活躍中のおしゃれな主婦でいらつしゃいます。パーティーを開くことは、家事の発表会であるというのが先生の考え方です。



ティーパーティーというのは、楽しい事ではなく、お菓子と紅茶に楽しい会話を添えて、和やかなひとときを過ごすことから始めれば良いそうです。そしてこれが出来れば、前回よりお菓子の数を増やし、小ぶりのサンドイッチやスコーンを加えてアフタヌーンティーパーティーへと移っていきます。セッティングは図のようにし、野の花を飾ります。ホステスは総てのものを用意してから着席し、ゲストと共に会話を楽しみます。しっかりと家事の実力をつけ、お友達を招いて、楽しい発表会を開いて見るのも素敵な事です。

パッチワークで クリスマスリース

中村浩子 (S61・理化)

小さな布切れをいろいろなパターンで縫い合わせ、形作るパッチワーク。無限のパターンと色の組み合わせで、世界で唯一つのオリジナル作品が作れます。今回は、賀川友紀子先生のご指導のもとに、ドレスデンのクリスマスリースを作りました。約二時間、とても素敵なリースが出来上がりました。

<若草の活動報告と行事予定>

年月日	内容
H 8 . 6 . 23(日)	第4回定例会(支部総会後に)
7 . 6(土)	宝塚歌劇 観劇
9 . 28(土)	おしゃれなアフタヌーンティーのおさそい
10 . 20(日)	パッチワーク講習会 ~クリスマスリースを創る~
11 . 10(日)	紅葉狩りハイキング ~有馬を歩く~ 集合場所: 神戸電鉄 有馬温泉駅 改札口 集合場所: 午前11:00 (雨天中止。お弁当、お茶は各自ご用意下さい)
H 9 . 1 . 25(土)	新年会 於: 宝塚ワシントンホテル (阪急宝塚駅下車) 午前11:30 ロビーに集合。12:00から会食 会費: 4,500円 申し込みは、1月10日締切。加藤まで(☎0797-74-7524) *お食事の後、楽しい催しを企画しています。
3 . 31(月)	手作り会 於: 宝塚女性センター(阪急宝塚駅下車) 時間: 10:00~15:00 申し込みは、加藤まで。 *手作り不得手な方も大歓迎 *家に眠っている和服、帯などございましたら お譲り下さい
4 . 6(日)	桜ピクニック ~仁川ピクニックセンター~ 集合場所: 阪急仁川駅 改札口 集合時間: 午前11:00 (雨天中止。お弁当、お茶は各自ご用意下さい)
5 . 23(金)	楽しいコーラス(文部省唱歌からポップスまで) 於: 宝塚南口会館(阪急宝塚南口下車、サンビオラ 5番館2階) 時間: 午前10:00~12:00 参加費: 500円 *希望曲も受け付けます。申し込みは5月3日締切。加藤まで



若草

クリスマスリース



紅葉狩りハイキング

加藤博子(S57・文国)

ハイキングに好適な季節を迎え、皆様方になじみ深く、歴史のある有馬を歩く会を計画致しました。

昼食は、一日中眺めていても飽きないということで「日暮らしの庭」との異名を持つ瑞宝寺公園でと考えております。豊太閤の昔、千利休らによって催された大茶会

に思いをはせながら、有馬随と
言われる紅葉をお楽しみ下さい。

解散後は、皆様それぞれお好みの温泉にて汗を流されてはいかが
でしょうか。

澄み切った秋空の下、日ごろの
お忙しい生活からちよつと離れて、
気の合った方々と一緒に有馬を
歩いてみませんか。ご家族の方も
大歓迎です。

コーラスへのお誘い

加藤博子(S57・文国)

歌に自信のある方もそうでない
方も大きな声で歌ってさわやかな
ひとときを過ごしませんか。昔懐
かしいあの歌この歌、文部省唱歌
あり童謡あり、映画音楽あり、ポッ
プスあり……。ピアノ伴奏は若
草会員の方にお願ひ致しました。
お子様連れの方にもお楽しみ頂け
ると思ひます。皆様と一緒に楽し
く歌いましょう。



折々の想い



袖振りあうも他生の縁とか、まして同じ学園で学んだものが、「もより」にくらしているのは、なかなか得難い人の関わりと、伊丹では十五年間、毎年欠かさず「もより会」を開いております。世代を越えた話し合いも楽しく、その日には他の予定が入り込まないようになっているのですが、いまひとつ、若い方々の出席の少ないのが気にかかっております。それなら葉書で皆様の声を集めようと、それもなるべく今日的な話題をと思ひ、例として夫婦別姓、薬害、住専問題等をあげておいたのですが、やはり葉書で言えるようなことではなく、無難な近況報告等のご返事が多かったようです。

澤田 ちよ子 (S25・文)

医薬の倫理について

田邊 幸子 (S17・文)

血友病患者のエイズ感染など、毎日報道される医薬に関する事故や過失を見ると、文明の進歩とは何だろうと、首をかしげるのだ。薬というのは、人間にとって「異物」である。人間は動物や植物を食べているが、薬品として精製されると、元の物が何であつても人体に入った時、それは異物である。だから経口でも注射でも、薬は何らかの副作用があるのだという認識が必要だ。それが不足しているから、安易に薬を飲ませた

り注射したりするし、受ける方は製薬業者や医師、薬剤師の利害関係や癒着を考えず、当座の苦痛を柔らげられればと思つてあろう。もう一つ、最近の問題は安楽死である。来世を信じない私は、この世だけが自分の居場所だと思つているから、最後まで延命治療を頼む積もりだが、世間には安楽死を願う人もいるらしい。だが、人は生きていくから人間なので、人の死を人間が左右するのは不適切なものである。医師が自分の判断をするなどは以つての外。医学の倫理が問われる所以だ。

阪神大震災

(先輩の教え)

橋詰 ケイ子 (S18・家)

「先生、ようまあご無事で……ほんとは何よりでした。えっ大声で、助けてエ……と」
阪神大震災……大きな古いお宅にお独り住まいと何がついていました大先輩のお元気なお声に、何も出来ないくせに私はホッとしました。

「それで先生、助けて……と何分位？」

「何分違うよ、何時間よ」叱りつけるような先生のお声……。さもあらん、ゴメンなさい先生……。「大分してから男の人の声でね」「頭どっちです？」って。それから「みんな上に乗ったらアカン、年寄りの骨が折れる」と。ベッドの敷布団が担架の役をした。男の人が四隅を持って頭の方から引き出してくれたの。と、そこに次男が立っててね。私「あんた来てたん」なんて言つたけど……魚崎の自分の家もやられたのに自転車で駆けつけてくれたことが、後で分つたの。「お母さん自転車で乗るか」「いいや、歩く」と。

次男が老母の長時間生き埋めに

よる異常の有無を気遣つて市立西病院へ連れて行つてくれたの。垂水から長男たちも握り飯持参で来てくれ孫が「おばあちゃん、美味しいね」と

その先生は今年の退職中学校長会総会にも垂水からお出ましになる。

これまで多くの方々に教えられ導かれていく恵みを思うにつけ、今回はとりわけ「生きる」ことの大切さを感じた。私はあの一月十七日地震の朝「自分は関東大震災の年に生を享けたのだから、この震災で召されるのだ」と観念しベッドから動かなかつた。終戦の前後、外地から引き上げ……。

日本人会から渡された青酸カリを幾度口にしようとした事か……。でもその都度、間髪助けられなかった。だから、もう神の恵みもこれまでと思つたのだ。恵みは受けるだけではいけない。お返しをして人生の幕を閉じねば。最後まで健康やかに天寿を全うする努力を誓つた。



伊丹もより会について

小川澄子 (S20・理)

伊丹の『もより会』は、昭和五十六年ごろに、事務局よりの依頼を受けて、昭和五十七年四月に、伊丹市立労働福祉会館にて発足しました。出席者は八名でした。兵庫県支部の地区もより会としては、六番組くらいの誕生でしょうか。会員人数の多い地区ならば何でもなくとも知れませんが、何しろ三十数名でしたので、どうなることかと案じながら始めたものでした。ともかく発足以来十五年間、毎年秋に十数名の者が集まって楽しい会を続けております。佐保会報も皆で手分けして配るようになっています。

これからも、もより会に気軽に一人でも多く、特に若い人の出席の増えることを願っております。

「奈良」の友人

澤田ちよ子 (S25・文)

この年になって分かったことの一つに、友人は大切だということである。勿論、家庭は大切なものだけれど今の社会は、それだけでは満たされぬ仕組みになっているように思う。そして又、高齢になる

と、その友人がなかなか得難いものであることも事実で、気がつけば、お互いもう五十年も付き合っているかと笑ったりするのだが、「奈良」はそういう意味で私の財産である。徒然草で良友の条件を三つあげている。「物くるる友、医師、知恵ある友」がそれだが、さしあたり「奈良」の友人は「知恵ある友」に該当するのだろうか。

この頃の子供

飯塚栄子 (S25・理)

中二生二人が質問箇所を出した。説明していると一人は、こくつと首を折った。居眠っている。自分で驚いて又、気を引き立てようとする。クラブで疲れているらしく、可哀相なので説明を適当に切り上げ、もう一度計算の基本練習を徹底しようとしてプリントを渡すと「これは出来そう。眼がさめる」と一生懸命に鉛筆を走らせはじめた。その時「この頃学校がいやなんです。私は何もしてないのにいじめられていると、先生や周りの人の子がうらやまのよう」と居眠った方が話せるといった様子で消しゴムで書き直いを直しながら横の友達にも私にも聞いてほしい様子が見える。もう一人は「誰や、そんなことを言うのは。あんたも先生にはつきり、いじめてないと言えいいいに」と言って計算を進めている。私も「わかっている人がいるはずだから元氣を出して先生や仲よくしている人に言いなさい」と慰める。話せただけでも少しは楽になったかなと思う。

いいタイミングで話す機会があると、救われるように思う。何か感じて心配して、話しかける機会を持つことは大変むづかしい。待つことの辛さは渦中の人以上のようだと思う。この子供のお母さん、さぞ心配されていることと思ひ、心配かけても家で話せばいいがと思ひながら送り出した。

児童くらぶの

指導員として

塚口郁子 (S35・家住)

伊丹市教育委員会は、共働きのことで、昼間家庭で適切な保育を受けられない小学校低学年の児童を、放課後に受け入れる「留守家庭児童会」事業を条例化し、平成八年四月より「児童くらぶ」という名称で運営しています。

「児童くらぶ」は市内十七小学校に設置し、各児童くらぶ二名の指導員により、家庭的な雰囲気の中

で自主学習や遊びを通して生活指導を行い、児童の健全育成を図ることを目的としています。

私はこの指導員になって十三年目に入ります。

近年、家庭にあつては核家族化、少子化、働く母親の増加、育児に対する価値観の多様化など、又、地域にあつては交通事故の増大、自然の喪失、遊び場や遊び仲間の減少、地域社会とのつながりの希薄など児童を取り巻く環境は必ずしも良好とは言えず、家庭、地域、行政が一体となって良好な環境の整備に務める必要があります。

その中で「児童くらぶ」は働く親を持つ児童の、放課後の生活の場の確保という大きな課題の一端を担って、指導員は、自由な遊びの中で楽しい放課後作りをするべく、日々、創意工夫し実践に取り組んでいます。

阪神・淡路大震災

都築暎子 (S37・家住)

思いがけない地震に被災してから一年五ヶ月。半壊した拙宅の修繕も後一息というところまでたどりつきました。長く感じられた一年あまりでした。職人不足で、約束の日に来ないばかりか突然前触

れもなく現われたりするので、全く予定のたたないのには、いらいらさせられました。しかも、やつと来た職人もたった一人。そのうえ高齢だったりすることも……。ともかくいつになったら完了するかわからず、こちらのストレスも昂じようというものです。しかしながら、生活しながらでも修理できる状態に感謝しなければならず、不平を言うのは、罰当たりというものでしょう。江戸時代の土蔵、土壁、しっくい壁、屋根瓦等等。土埃の中で生活は本当に大変で、そのうえ雨が降るとずるずるになり滑ります。家などは最低限の生活できる空間のある簡単な建物で結構と、つくづく思いました。しかし、又、古い家にしがみつくとになってしまいました。

解体した二棟の土蔵の中からは、戦後の物のない時代に捨て難かったかと思われる物々……。壊れているがひとまずと、蔵に入れていた脚の取れた椅子、ちゃぶ台、綿たつぷりの重い布団、払い下げの軍需の毛布等々……。この際とはかりに期待して古物商が買いにきた美術品や骨董品は皆無。そして私が購入したまま一度も目を通してない本、手を通してない衣服、その他無駄ばかりで、スリムにならなければと反省しました。改めて、自然の力の大きさに畏敬の念を抱き、その前には自分の存在、ましてや悩み等小さい物だから、くよくよせずに前向きに生きていこうと、半ば開き直っているこのごろです。

消費生活相談

酒井淑子 (S42・家住)

今年四月から県立神戸生活科学センターへ転動しました。場所も神戸駅南のクリスタルタワーに変わりましたし、内容もずいぶん様変わり……。

先ごろまとめた七年度の消費生活相談からその一端をご紹介します。

センター設立三十年を経て、消費者苦情は過去最多件数。阪神・淡路大震災で自宅に被害のあった被災者が家屋を補修したり再建する際のトラブルが増加したのが原因です。おとり広告や悪質な訪問販売員にだまされたケース、さまざまな工事による雨漏り、説明や設計と実際の工事が異なる契約違反、契約額に上乗せした高額な代金の請求など……現在もこうした苦情は寄せられています。「早く家を

再建したい」という被災者の心理に付け込んだ悪質な業者もめだちます。消費者側も家の補修や建築について工事方法や価額などの知識や情報が少ない上、地元業者が被災したりして業者選びが難しい状況です。契約を結ぶ際に業者の建設業の認可の有無を調べたり、慎重な上にも慎重な姿勢が必要で

相談の受付は

078136010999へ
平日 九時～十七時十五分
土・日・祝日十時～十七時

職場雑感

教師をめざす女子学生

中井昌子 (S43・家食)

高校の家庭科を男女で学ぶようになって三年目。男子の家庭科の先生も誕生しています。それは当然の事であり、喜ばしいことなのですが、女子大学家政学部で就職科目を担当している私は複雑な思いです。

女子学生の就職が超氷河期と言われる中、教員採用試験のシーズンになりました。私が受験したころは採用数も受験者も今ほど多くなく、人気職種とはいえませんでした。現在、私の周辺には何年か

かっても教師になりたいという学生がたくさんいます。

人と人とのつながりが希薄になりがちな現在、可能性をいっぱい秘めた子供達を育てて行く仕事に携わりたいというのです。そして生きる力を育むのに最も近い位置にある家庭科を選んだ学生を、私は誇りに思っています。私がおこに來るまで多くの方々から受けたご支援を、今度は若い学生達に贈りたいと微力ながら頑張っています。

奈良女子大学にもどつて

安田恵子 (S55・理生)

研究室の窓から緑の若草山を背景に東大寺の大仏殿の屋根が望まれます。二年近く前に奈良女子大学に戻ってまいりました時に、最初に私を迎えてくれたのが、この窓からの風景でした。この眺めを見た時「ああ、本当に奈良女子大学に戻って来たんだな」と実感しました。今でも、四季折々の奈良の風景は、実験に疲れた時などに心を和ませてくれます。

改修工事も終わって重要文化財に指定された記念資料館(もとの講堂)と正門。小倉遊亀先生のみごとな緞帳のかかった新しい講堂。

キャンパスの中で大きく育った花梨、楠、桜などの木々。情報処理センターをはじめとする新しい建物が建てられ、新しい学科もでき、なにより学生たちはすっかり現代っ子になったのに、それでも、ちっとも変わらないと感じたのは、先輩たちからずっと受け継がれて来た奈良を愛する心、勉学に対する想いのせいかも知れません。学生であった時よりも、今の方がずっとこの大学を好きになったようです。

校内で草を食む鹿たちもすっかり衣装を変えて、美しい鹿ノ子模様になりました。今、奈良は美しい季節です。また一度、懐かしい大学にお越しになりませんか。

作品を読む

渡邊ルリ (S 6361・文修国)

若い学生さんと小説を読んでいて気付くのは、少々個人差はあっても、その世代に特に感動を与えている作品があるということである。

芥川の「秋」、佐多稲子の「くれなる」と読んで来て、中島敦の「悟浄歎異」「悟浄出世」になったら、それまで手探りの感じで書かれていたレポートの文章が、急

に生き生きしてきた事がある。

作品の第一印象は中島の方が難解なのだが、例えば他者に憧れるほど自己との隔たりを知って寂しさを覚える悟浄の思いに、各々の経験を投影して読むようである。

作品を読む意味は、実生活ではなかなか経験できない他者の人生を、時代や性別、日常さえも越えて自己の体験として辿ることにあるだろう。だが「秋」や「くれなる」のような、戦前の女性の恋愛や結婚に纏わる苦しみは、戦後世代の私を含めて女子学生にわかりきれない所があるように、作品と出会った時期には漠然とした理解しか持てないこともある。しかし何年か経ったときに、ああ、あれはこういうことだったかと気づくことがあるかもしれない。その日のためにも、共に読んでいきたいと思うのである。

近況報告

北山有美子 (H 3・理物)

私、ただ今七ヶ月の長男を抱え一年の育児休暇中であります。初めての経験で大変な事も沢山ありますが、日に日に大きくなる我が子をずーっと見ていられるのは本当に楽しく、幸せであります。

女性に対しても働きやすく、環境の整った会社に運よく勤務しているにもかかわらず「このまま辞めてしまいたい」と思う気持ちがあるのは会社の人間関係で私が未熟なのでしょうか。また働きたくても働くことのできない女性に大変申し訳無い気が致します。たぶん、このまま会社を辞めてしまうことはないと思いますが、いろいろ悩みの多いこの頃です。

会員による近刊書紹介

「影青の陶片」牛尾昌江歌集
著者 牛尾昌江 (S 16文)
発行所 雁書館

「こんな母子」
著者 久間野千恵子

発行所 (田邊幸子) (S 17文)
近代文芸社

「こんな老人たち」

著者 昔も今も老人達は
久間野千恵子

発行所 (田邊幸子) (S 17文)
近代文芸社

「青い風はいつ」学童疎開の八ヶ月
著者 橋尾信子 (S 32理物)
発行所 六甲出版



短歌

タイ国寸望

田邊幸子 (S 17・文)

タイといふは遠き国なりハワイをば近しと思ふわが感触に
住宅も道路もいまだととのはず寺のみ華麗タイといふ国
名君と言はるる王を仰ぎつつ首都さわがしく人ら貧しき
なにがしの寺それぞれに輝けどチャオプラ河は濁りて流る
熱帯のタイより帰り花冷えの日本を地球の果てと思ひぬ

(旧仮名遣い)



前回は、「昆陽池」と「柿衛文庫」を御紹介しました。今回は、その後に、開かれた「荒牧バラ公園」と「伊丹市昆虫館」についてお知らせします。

荒牧バラ公園

伊丹市の中心街から北、約四キロメートルに位置し、西に遠く六甲連山を望み、北に長尾の山並が望まれる、のどかな環境にあります。

伊丹生まれで、世界的に作られている、黄色のバラ「天津乙女」など二百種、約一万本の色とりどりの花が、春と秋の二回、咲きほこります。

また、この公園は、西側にある天神川の河川堤防を、一部、利用しているため、高低差十メートルの立体的な造園になっていて、バラの美しさが一段と引きかたっています。

園内には、高くそびえる赤茶色



荒牧バラ公園の平和モニュメント

の平和モニュメントがあり、自由、平等、人類愛を象徴する三本の柱を中心に、渦巻き状に掘り込んだ地下の広場は、無限の宇宙を表現し、瞑想空間を作り出しています。

開園時間 午前九時（入園無料）
地下ホールは火曜日休館
交通機関
・ 阪急伊丹駅、または、JR伊丹駅より市営バスまたはシャトルバス（仮設阪急伊丹駅よりバス停までは徒歩で約五分です。）
・ 阪急山本駅、JR中山寺駅から徒歩約二十分
シャトルバス

名称「シティーゴランド」
ツートンカラーの、可愛いレトロバスです。

伊丹市昆虫館

昆陽池の東北端に、緑に囲まれたドーム型を伴った建物が見えます。これが昆虫館です。

ドーム型の温室の中には、熱帯の美しい花が咲き乱れ、その間を日本最大のオオゴマダラやツマベニチョウなど、いろいろな美しいチョウが自由に飛び交っています。何度でも訪れたくなるほっとできる場所です。

また、ハイビジョンホールでは様々な昆虫の生態がいきいきとした映像で見られます。

展示室では、時々、特別展が催され、世界各地のめずらしいチョウや昆虫の標本が展示され、特に熱帯地方の色あざやかな大きいチョウを見ていると、彼等が熱帯の草原で飛んでいる姿を想像して夢の世界に誘われます。

展望台からは、水鳥の浮かぶ昆陽池の中に日本列島を形どった島を見渡すこともできます。

開園時間 午前九時三十分
休館日 (1) 毎週火曜日

(2) 休日の翌日（日曜、休日の場合は開館）

(3) 年末年始



ドーム型建物の昆虫館

観覧料 大人 三百円
中高生 二百円
小人 百円

交通機関

市営バス

・ 昆陽池公園径由西野武庫川センター行（玉田団地下車）
・ 松ヶ丘及び松ヶ丘径由西野武庫川センター行
（松ヶ丘下車）
（松ヶ丘下車）

シャトルバス

（松ヶ丘下車）

お帰りには、長寿蔵（白雪レストラン）で、ベルギー風・地ビールを楽しむのもよいかと思えます。 斎藤美智子（S34理数）

平成7年度会計報告並びに平成8年度会計予算

取 入 の 部			支 出 の 部		
費 目	平成7年度決算	平成8年度予算	費 目	平成7年度決算	平成8年度予算
前年度繰越	2,551,571	2,284,956	本部会費	673,000	680,000
会 費	1,392,000	1,400,000	総会補助費	102,626	100,000
内訳	〔673,000〕	〔680,000〕	通信印刷費	145,757	185,000
〔支部会費〕	〔719,000〕	〔720,000〕	交 通 費	69,440	55,000
預金利息	3,576	3,000	名簿印刷費	73,864	430,000
本部より補助	69,600	70,000	名簿送料	230,000	280,000
寄 付	10,000	0	支部だより印刷費	180,000	180,000
合 計	4,026,747	3,757,956	陸会補助	30,000	30,000
			若草補助	30,000	30,000
			佐保婦人学級補助	10,000	30,000
			リーダー会経費	38,986	40,000
			慶 弔 費	75,612	70,000
			事 務 費	109,406	100,000
			予 備 費	100	7,000
			小 計	1,741,791	2,217,000
			次年度繰越	2,284,956	1,540,956
			合 計	4,026,747	3,757,956

資産内訳(H.8.3.31 現在)

		別途友愛貯金
定額郵便貯金	1,991,000	1,120,000
郵便貯金	11,515	6,083
振替貯金	143,575	計 1,126,083
現 金	39,866	
計	2,284,956	

平成8年度支部役員

地区リーダー・佐保婦人学級・若草

	役員	氏名	年次	住所	地区名	氏名	年次	地区名	氏名	年次	
	A 支部役員	支部長	浅野晶子	S23・家	中央区	東灘区	松尾 薫 久保伊希子	S47・理化 S51・家住	宝塚市	吉田俊子 廣瀬周子	S22・文 S29・家被
副支部長		大久保勝美 中村浩子	S31・文国 S61・理化	北 区 宝塚市	灘 区	田辺富子	S24・理	川西市 川辺郡	川川登美子	S39・家食	
事務局		吉江順子	S35・文社	宝塚市	中央区	中央区	右田俊子	S52・理物	明石市	内匠慶子	S18・保
		瀬川順子	S41・文英	中央区	兵庫区	兵庫区	藤田セツ子	S33・家住		寺田 翠	S37・文幼
		松本佳代子	S44・文英	伊丹市	長田区	北 区	森田絹子 小池典子	S29・理数 S33・文英	加古川市 高砂市 加古郡	田中洋子 塩谷迪代	S44・家食 S34・家食
		藤井勢子	S48・家食	中央区	須磨区	山田桂子 岡本悦子	S31・文幼 S37・家被	三木市 小野市 西脇市 加東郡	芝美代子 村田好子	S43・理化 S39・家食	
会計監査		内匠慶子 東 昌子	S18・保 S19・文	明石市 芦屋市	西 区	甚目律子 小幡京子	S36・家食 S51・家被	姫路市 相生市 赤穂市 赤穂郡 龍野市 揖保郡 神崎郡 淡路地区	安東和子	S38・理植	
B 本部役員		本部理事	浅野晶子 佐藤すなほ	S23・家 S19・家	中央区 尼崎市	尼崎市	山川はる江 鈴木久子	S19・保 S37・家食	西宮市	永吉和子 北川清子	S34・理化 S40・家食
		本部評議員	山川はる江 大久保勝美 寺田 翠 松本佳代子	S19・保 S31・文国 S37・文幼 S44・文英	尼崎市 北 区 明石市 伊丹市	西宮市	永吉和子 北川清子	S34・理化 S40・家食		芦屋市	春田君子 光長紀美子
C 支部活動委員		佐保短大理事	八木 静子	S9・文	須磨区	伊丹市	塚口郁子 都築咲子	S35・家住 S37・家食	伊丹市	鎌谷直子	S39・家食
	支部だより 20号 編集委員	田邊幸子	S17・文	伊丹市	伊丹市	伊丹市	都築咲子	S37・家食	伊丹市	加藤博子	S57・文国
		橋詰ケイ子	S18・家	伊丹市		伊丹市	加藤博子	S57・文国			
		小川澄子	S20・理	伊丹市		伊丹市	加藤博子	S57・文国			
		高山直子	S20・臨家	伊丹市		伊丹市	加藤博子	S57・文国			
		澤田ちよ子	S25・文	伊丹市		伊丹市	加藤博子	S57・文国			
		飯塚栄子	S25・理	伊丹市		伊丹市	加藤博子	S57・文国			
		斎藤美智子	S34・理数	伊丹市		伊丹市	加藤博子	S57・文国			
		塚口郁子	S35・家住	伊丹市		伊丹市	加藤博子	S57・文国			
	都築咲子	S37・家食	伊丹市	伊丹市	加藤博子	S57・文国					
松本佳代子	S44・文英	伊丹市	伊丹市	加藤博子	S57・文国						
大学婦人 協会役員	津村直子 藤岡利子	S35・文教 S38・家被	東灘区 尼崎市	佐保 婦人学級	坪根ミキ 山川はる江 大久保勝美 寺田 翠	S16・B理 S19・保 S31・文国 S37・文幼	若草 (宝塚 地区)	中村浩子 西川弘子 佐藤慶子 高尾知佐子 加藤博子	S61・理化 S41・文幼 S43・文英 S57・文修社 S57・文国		

事務局だより

平成7年度事業報告

- ・平成7年6月30日 第13回佐保婦人学級開講式
- ・7月2日 神戸ベイシエラトンホテル&タワーズで支部総会及び第3回「若草」定例会
- ・10月7日 地区リーダー会開催
- ・10月15日 睦会(於宝塚ホテル)
- ・11月 第19号支部だより発行(尼崎地区担当)

平成8年度事業計画

- ・平成8年1月7日新年会開催(於神戸竹葉亭)
- ・平成8年4月26日 第14会佐保婦人学級開講式

事務局からのお知らせ

- ・6月23日 神戸ポートピアホテルで支部総会及び第4回「若草」定例会
- ・10月5日 地区リーダー会開催
- ・10月22日 睦会開催
- ・11月 第20号支部だより発行
- ・11月 名簿作成・発行
- ・平成9年1月12日新年会開催
- ・橋尾信子氏(S32理物)がH8・8・24に平成7年度「半どんの会」文化賞を、現代芸術賞・文芸部門で受賞されました。
- ・小倉遊亀氏の「わたしが描いてきた絵」のビデオ、並びに校歌のテープの貸出しいたします。

もより会報告

- 灘区 一月早々の予定
- 中央区・兵庫区・長田区 十一月九日(土) 午後一時より「ペアーレ神戸」
- 北区 十一月十日(日)
- 「有馬グランドホテル(雅中庵)」須磨区 八月二十八日
- 「シーパル須磨」
- 垂水区 一月末の予定
- 芦屋市 十一月九日(土)
- 宝塚市 十一月十七日(日)
- 「宝塚ワシントンホテル」十一月より
- 川西市 十二月一日(日)
- 折紙(クリスマス・正月用)
- 講師 内山美智子氏
- 加古川市・高砂市・加古郡 五月に初めての「もより会」をもち、楽しいひとときを過ごしました。
- 姫路地区 六月一日「福亭」
- 伊丹市 十一月十日(日)
- 三木・小野・社地区 三月二十八日「ナリス化粧品工場研修センター」

平成8年度 佐保婦人学級行事

月日	内容	会場	講師
H8 4/26	開講式・トルコの話	神戸市労働会館	山川はる江氏
5/21	未来志考	神戸市労働会館	印部すゑこ氏
6/25	協同の苑見学	六甲アイランド特別養護老人ホーム	
7/9	オルゴール鑑賞	高山植物園オルゴール館	
9/24	野草・花を描く	神戸市労働会館	那須瑞子氏
10/19	りんご狩り	和弘美術館	
11/20	家裁雑感	神戸市労働会館	竹崎美佐保氏
H9 1月	家用書道	神戸市労働会館	川口登美子氏
2月	パッチワーク(小物)	神戸市労働会館	都筑久美子氏
3月	折り紙閉講式	神戸市労働会館	内山美智子氏 浅野品子支

9年度支部総会

- ・平成9年5月25日(日)
- ・神戸ポートピアホテル

哀悼

- 山本節子様 (S2理) H7・7・27 没
- 枝 静枝様 (S8保) H7・10・5
- 井上多恵様 (S4保) H7・10・6
- 藏中スミ様 (S22文) H7・11・5
- 上田ユクエ様 (S4文) H8・1・23
- 船久保トメノ様 (S5家) H8・2・4
- 箕浦千代子様 (T11文) H8・5・4
- 妹尾美さを様 (S4臨地歴) H8・5・6
- 石見たか様 (S17理) H8・6・26

編集後記

伊丹市担当の支部だより編集にあたり、会員の皆様にはお忙しい中、原稿をお寄せ頂き、誠にありがとうございました。なるべく御覧になり易いように、活字の大きさ、写真の配置等に配慮致しました。紙面の都合で、原稿を一部省略させていただきます点はお許し下さい。

- (編集委員) 田邊・橋詰・小川・高山・澤田・飯塚・斎藤・塚口・都築・松本